Monthly
JVEC NEWS
vol.20
ジャパンベジタブルコミュニティ …マンスリーニュース… 2018年1月号

原点に返る

“原点に返る”ということは、“振出しに戻る”、“初志を再確認する”ということでもあります。
私たちはいつの間にか当初の熱い思い、目的を忘れてしまいがちです。何事でもそうですが、頭で考えていることと現実的にできることとの間には大きなギャップがあります。そのため、目の前の現実的問題の解決に全力を注ぎます。それはそれで大切なことです。しかし、解決して「それで事足れり」と、満足してはいけないのではないでしょうか。「何のためにこのことに取り組んでいるのか」を折りに触れて再確認することが大事です。
JVECは『「農」の新しい価値』を創りだすことを目指しています。そのために多様な視点から「農」にアプローチしていこうとしています。具体的分野は屋上菜園を中心とする「都市農業」と「地方再生」、都市と地方の交流です。
2018年は、JVECにとってとても重要な年になるのではないかと思っています。当初の熱い思いは現実によって鍛えられ、磨かれていきます。野菜に例えれば当初の思いは「種」ということになるでしょう。土(社会)に播かれた種から、芽が出てきています。
JVECという野菜がどのように根を張り、どのように茎葉を拡げ、どんな花を咲かせ、実をつけていくか、2018年はそれがはっきり見えてくる1年になる、そんな思いでワクワクしています。
会員の皆さん、力を合わせて今年を充実した1年にしていきましょう。

代表理事　阿部義通

12月の活動報告

◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇
園児たちがダイコン収穫

12月13日(水)午前10時より、北千住ルミネの屋上菜園ガーデンにて保育園の子供たちが大根および京野菜の聖護院大根の収穫を行いました。先月のサツマイモ掘りに続いての収穫体験となった子供たちは、12月の寒さを吹き飛ばすほどに元気いっぱいでした。年少組から年長組まで約30名の園児が参加しました。
子供たちの中には、先月屋上を訪れたときから大根が気になっていた子もいて、実際に収穫が始まると、みるみるうちに1本また1本と大根の白い肌が土から姿を現し、あっという間に収穫を終えました。
収穫した大根は、深さが15cmの土を高さ20cmの畝にした環境で種から育ててきたものでしたが、非常に大きく育ち、大きいもので30cm近くになっていました。同時に収穫を行った聖護院大根も非常によく育っており、収穫した子供たちも大きく成長した大根や聖護院大根の重さにびっくりしているようでした。　(藤掛)

ぼくの足よりも大きいかな？

園児たちが大根を収穫

◇三井住友海上火災㈱屋上菜園部会◇
2018年は工事のため一旦閉鎖

12月20日、三井住友海上火災保険㈱と今後の運営について包括的な打ち合わせをしました。来年度は工事のため1年間屋上菜園の利用者貸出しは停止します。その間のメンテナンスと、2019年度についてはコミュニティ菜園としての特徴をどのように具体化するか、意見交換をしました。その結果、JVECに対し、以下2件につき提案してほしい旨要望があり、1月上旬に提案書を提出することになりました。
・2018年度の屋上菜園のメンテナンス方針(ネズミ対策、有機土壌づくりなど)
・2019年度の屋上菜園の運営方式　(庭野・阿部)

◇遊心「屋上菜園で子育て支援」部会◇
ハゴロモ屋上でスタート

12月から子育て中の親子支援として、屋上で野菜作りを指導とサポートする活動が始まりました。1月中旬に神田のハゴロモ屋上の畑を改良し、3月～4月にかけて野菜の苗を植え始めます。月に2回、子育て中の親子に野菜の育て方を指導。子供たちが屋上菜園で自然に触れ、野菜を育てて、そして食べる。残渣は肥料となって再利用。これぞ循環型社会のミニモデルですね。子供たちとJVECの触れ合いが化学変化を起こし、新しい活力が生まれていく予感あり！　(伊藤)

12月の活動報告つづき

◇エゴマ部会◇

エゴマ部会ではこの度、エゴマ油のチラシを作成しました。50mlのお試し用のチラシで、商品だけでなく生産者の柴原さんの紹介もしています。今回は千代田区半蔵門のオーガニックカフェ「TIMI」と大阪市新大阪のベジカフェアルファの２店でエゴマ油を店頭販売します。テレビや週刊誌で、川本町のエゴマが紹介され大きな反響が出ています。

（阿部・柴原）

店頭販売する50mlのエゴマ油

◇国産スーパーフード部会◇
緑のバナナのパワー！その２

若さ、美と健康には腸が大切。最近よく言われます。その腸を整え活性化するのがグリーンバナナのでんぷん、「レジスタントスターチ（ＲＳ）」。バナナは日本ではほとんど栽培されていませんから「国産スーパーフード」ではありませんが、その利用方法を日本で開発します。ＲＳを使用したパンやケーキ・ピザやスパゲッティ・たこ焼きにお好み焼き・餃子に豚まんなどなど。グリーンバナナのＲＳはグルテンフリーですから安心のＦＯＯＤができます。レシピ開発に是非ご協力をお願いします！

（伊藤）

色鮮やかなグリーンバナナ

JVECプロジェクト & 関連ニュース

1. デパート屋上菜園・果樹園

最近になってデパートから屋上菜園・果樹園のお話が来ています。そのような時代になってきているのかもしれません。JVECがこのようなお話に対応するためには、少なくとも以下の条件が揃っていることが前提になります。

1．屋上の荷重条件を満たすことができる菜園施設であり、設置型で移動・撤去が簡単にできるものであること

2．デパートの屋上向け果樹・野菜などの栽培と供給ができる農家のバックアップ体制がしっかりとれること

3．デパートの本業への貢献・効果を提案できること

4．JVECとして専門チームが組成できること

チャンスです。身の丈を考えながら、取り組んでいきたいと思います。都市の屋上菜園は、身近な生活空間の快適性を味わえ、多様な経済効果をもたらし、都市全体の環境改善も促進されます。さらに、環境共生型の都市実現の重要な位置づけを果たすことにより、人の関係においても癒し効果で円滑なコミュニケーションや子どもたちの教育にも役立ちます。また、屋上菜園は空間演出が可能なことから、身近な集いの場所を生み出すことができます。

（中島）

2. 地方再生（山梨県富士川町）

第二の故郷づくり

12月21日山梨県に出張し、現地の関係者２名と打ち合わせを持ちました。打ち合わせの結果、現地の関係者とJVECのメンバーでプロジェクトを実現するための推進チームをつくることとなりました。現在富士川町でもUターン、Iターン組が増えてきているとのことです。都市からの旅行客と現地の人々をつなぐコミュニティ･ナビゲーターの役割をUターン､Iターン組に担って頂けそうです。現地の関係者と一緒に、富士川町ならではの地方再生の仕組みづくりに、取り組んでいくことになりました。

（阿部）

1月の予定

□島根県川本町出張（えごまと地方再生）
□千葉県いすみ市出張（竹炭供給の件）